

福島県立医科大学附属学術情報センター  
図書管理システム 仕様書

令和6年9月

公立大学法人福島県立医科大学

## 目 次

### I. 仕様概要説明

1. はじめに	1
2. 調達物品名、構成内訳及び貸借期間	1
3. 納入場所	2
4. 技術的要件の概要	2
5. その他	2

### II. 調達物品に備えるべき技術的要件

1 基本要件	3
1. 1 利用対象・形態	3
1. 2 基本要件	3
1. 3 ハードウェア	4
1. 4 ソフトウェア	4
2 業務処理別要件	5
2. 1 基本要件	5
2. 2 図書管理	5
2. 3 雑誌管理	6
2. 4 目録管理	7
2. 5 閲覧管理	8
2. 6 相互貸借	10
2. 7 蔵書点検	10
2. 8 統計機能	11
2. 9 目録検索(OPAC)	11
2. 10 ポータル機能	12
2. 11 電子リソース管理	13
3 ハードウェア	13
3. 1 サーバ	13
3. 2 端末PC等	14
3. 3 その他のハードウェア	17

### III. その他の要件

1 保守	21
2 移行	21
3 情報セキュリティ	21

4 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

[別紙1] 図書管理システム概念図

[別紙2] 令和5年度福島県立医科大学附属学術情報センター業務統計

## I. 仕様概要説明

### 1. はじめに

本仕様書は、福島県立医科大学附属学術情報センター（光が丘キャンパス）および福島駅前キャンパス図書室に設置する図書管理システムについての性能に関する基準を示すものである。本仕様書に示す基準は、主要な事項のみを示したものであり、本仕様書に明記していない場合でも、図書管理システムとして当然備えるべき事項については、完備するものとする。

### 2. 調達物品名、構成内訳及び貸借期間

・ 調達物品名 福島県立医科大学附属学術情報センター図書管理システム 1式

・ 構成内訳

1. サーバ

		総数	うち光が丘	うち駅前
--	--	----	-------	------

		総数	うち光が丘	うち駅前
(1)	業務サーバ	1式	1式	—
(2)	検索サーバ	1式	1式	—
(3)	コンソール装置	1式	1式	—
(4)	ネットワークストレージ	1式	1式	—

#### 2. 端末等

(1)	業務用端末	11式	8式	3式
(2)	検索性端末	6式	4式	2式
(3)	蔵書点検用端末	3式	2式	1式

#### 3. 端末接続機器

(1)	バーコードリーダー	9式	6式	3式
(2)	ICカードリーダー	4式	2式	2式
(3)	磁気カードリーダー	4式	2式	2式
(4)	磁気カードリーダーライタ	2式	1式	1式

#### 4. その他のハードウェア

(1)	カラーレーザープリンタ（事務室・光が丘）	1式	1式	—
(2)	カラーレーザープリンタ（カウンター・光が丘）	1式	1式	—
(3)	モノクロレーザープリンタ（閲覧室）	4式	2式	2式
(4)	ハンディターミナル	4式	2式	2式
(5)	自動貸出返却装置	2式	1式	1式
(6)	ブックディテクションシステム	1式	1式	—

#### 5. ソフトウェア

(1)	図書管理システムパッケージソフトウェア	1式
-----	---------------------	----

・ 貸借期間

令和7年3月1日～令和12年2月28日（60か月）

### 3. 納入場所

本システムの設置場所は次のとおりである。

(図書管理システム)

- ・ 附属学術情報センター（光が丘）
- ・ 福島駅前キャンパス図書室

### 4. 技術的要件の概要

- (1) 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、IIに示すとおりである。
- (2) 技術的要件には、必須とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、入札資格審査において資格がないとの判定を行う。
- (3) 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、入札に係る仕様書や入札説明書で求める提出資料の内容の審査をして行う。
- (4) 提案する図書管理システムパッケージソフトウェアの動作環境としてハードウェア構成が変わる場合は、構成仕様に準じたハードウェア構成を行うこと。

### 5 その他

#### 5. 1 技術仕様等に関する留意要件

- (1) 技術仕様書の提出に際しては、提案システムが本仕様書の技術的要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを技術的要件ごとに具体的かつわかりやすく、資料等を添付する等して説明すること。なお、技術仕様書には本学仕様書の技術的要件を満たす場合には○印を、代替措置等を行っている場合には△印を付して対応状況を表すこと。審査するにあたって提案の根拠が不明確あるいは説明が不十分であり、客観的に判断できない場合には、技術的要件を満たしていないものとみなす。なお、提出された内容について、問い合わせやヒアリングを行うことがある。
- (2) 提案する機器及びソフトウェアは、入札時点で製品化されていることを原則とする。入札時点で製品化されていない機器及びソフトウェアで応札する場合は、技術的要件を満たすこと、及び納入期限までに製品化され納入できることが判断可能な資料を提出すること。

#### 5. 2 その他の留意要件

- (1) 通信設備は原則として既存のネットワークを使用すること。ただし、新たな配線や変更等が必要な場合は受注者が行うこと。
- (2) 搬入、据え付け及び調整に要する諸経費は受注者側の負担とする。また、工事を要する場合はその費用も受注者側の負担とする。
- (3) 機器類の設置、テスト等の導入に必要な作業を行う際、本学の業務に支障を来さないよう配慮すること。

- (4) 機器の稼働に際しては特別な冷却設備を必要としないこと。
- (5) 現在の電源設備は単相 100V を有しており、既存の設備で稼働すること。
- (6) 本システムの設置場所及び方法の詳細については、本学と協議すること。
- (7) 機器搬入・調整等の期限は令和 7 年 2 月 28 日とし、本運用は令和 7 年 3 月 3 日から開始とすること。
- (8) 借入物品の期間満了、解約に伴う撤去、及び搬出に必要な諸経費は受注者側の負担とする。ただし配線類は期間満了後も引き続き本学が使用することができるものとする。

## II. 調達物品に備えるべき技術的要件

### I 基本条件

#### 1. 1 利用対象・形態

- (1) 図書管理システムパッケージソフトウェアは、大学図書館で行う図書館資料の受入業務、目録データの作成、閲覧業務、蔵書検索サービスなどの業務を対象とする。

#### 1. 2 基本要件

- (1) 図書館業務のトータルな電算化を行い、利用者サービスの向上を図ること。
- (2) 図書管理システムパッケージソフトウェアは現在 15 大学以上の図書館で稼働しているものとする。
- (3) 学内 LAN 及び SINET 等のインターネットに接続できること。また、図書館から蔵書検索等のサービスの提供が学内外に向けてインターネットにより行えること。
- (4) NACSIS-CAT、NACSIS-ILL 等、国立情報学研究所(NII)の目録所在情報サービスがネットワークを通じて利用できること。CATP に対応できること。
- (5) 附属学術情報センター及び福島駅前キャンパス図書室（以下「各館」という。）において、並行して各種業務が可能であること。
- (6) ハードウェアおよびソフトウェアの運用、保守、障害時の迅速な修復などについて、受注者の支援体制が迅速かつ協力的であること。
- (7) サーバのオペレーティングシステム(OS)として Linux を採用していること。
- (8) 信頼性のあるリレーショナルデータベース管理システムで、日本語文字列検索機能（全文書検索機能）を有すること。
- (9) リレーショナルデータベース管理システムのデータは UCS コードであること。
- (10) 現有のデータ量を全て収容し、5 年間の増加データ量に十分対応でき、日常業務で発生するデータを保存できる記憶容量を持つこと。
- (11) システムとして、日本語処理に優れ、操作性がよく、管理運用が容易であること。
- (12) 現行の利用者カード (FeliCa、および JIS II 規格磁気カード) が利用できること。また、現在の利用者 ID を変更する必要がないこと。
- (13) 現行の資料 ID (7 桁または 9 桁) をそのまま継承できること。また、バーコード

ラベルの貼替を必要としないこと。

### 1. 3 ハードウェア

- (1) バックアップ機能を備え、障害時には短時間で復旧できること。
- (2) サーバには無停電電源装置（給電5分以上）を備えること。また、無停電電源装置がバッテリー能力の低下により十分な電源の供給をできなくなった場合には、バッテリーを交換すること。
- (3) 導入後最低5年間のデータの処理と蓄積に対応できる機器であること。
- (4) 業務サーバ、検索サーバ、ネットワークストレージ、およびその周辺機器はコンピュータ室（光が丘）の既存19インチラック（FSS90-716EKN 700×917×1600 33U）に収納すること。ただし、ディスプレイ、キーボード、マウスはラック横のテーブルに設置してよい。
- (5) サーバおよびPCのOSはサポート期間が十分なものとする。賃貸借期間中にサポートが終了した場合は、本学と相談のうえ、バージョンアップや代替品などで対応すること。
- (6) 下記に示すものについては、国際エネルギースタープログラム、省エネルギー法、またはグリーン購入法に適合している機器とすること。
  - (ア) サーバ
  - (イ) PC
  - (ウ) ディスプレイ装置
  - (エ) プリンタ
- (7) 納入する物品は、中古品でなく未使用品であること。
- (8) サーバについて、コンピュータウイルス対策を行うこと。
- (9) PCについて、本学でライセンス導入中のセキュリティソフトをインストールすること。

### 1. 4 図書管理システムパッケージソフトウェア

- (1) 図書管理システムパッケージソフトウェアの導入とチューニング及びそれらの修正や保守は受注者が提供すること。また、その作業にあたっては、本学の日常業務に支障を与えないこと。
- (2) 国立情報学研究所(NII)に接続し、同研究所の提供するNACSIS-CAT/ILL等が利用できること。
- (3) 学内LAN及びインターネットなどの通信プロトコルはTCP/IPとする。
- (4) 蔵書検索、ポータル機能等、利用者への情報サービスは各種クライアント環境から多様なユーザーインターフェース（PC、スマートフォンなど）で利用できること。
- (5) 入出力文字種については、業務を遂行するために十分なものであること。
- (6) 画面上に複数業務のウィンドウを同時に表示し、並行処理ができること。
- (7) 図書館職員による画面や帳票のカスタマイズができること。

## 2. 業務処理別要件

### 2. 1 基本要件

- (1) 図書館用パッケージソフトウェアを本学の運用に合わせて設定のうえ提供すること。
- (2) 各館において並行して処理が行えること。また、同時に同じ処理を行っても結果に支障を来さないこと。
- (3) 中国語や韓国語等の多言語文字を表示および入出力する機能を有すること。
- (4) マルチウインドウ及びマルチタスク処理機能を有すること。
- (5) 一覧表示画面において表示項目の選択および項目を指定したソートができること。また、一覧表示されたデータを Excel ファイル、CSV ファイル、TSV ファイル等に出力できること。また、これらの操作はいずれも GUI 画面上の操作により行えること。
- (6) 利用権限の設定等により利用可能な画面を制限できること。
- (7) 各種帳票のプレビュー表示、プリンタ出力が行えること。また、帳票は PDF 形式にて出力可能なこと。
- (8) 主要な画面において、フォントのサイズや種類の変更が可能なこと。
- (9) 画面上の操作により資料の所在、資料の受入先、利用者の所属等を表す各種コードを登録、修正、流用入力できること。

### 2. 2 図書管理

#### 2. 2. 1 選書

- (1) NACSIS-CAT からデータを取り込み選書に利用できること。
- (2) 選書で作成した情報を発注・受入で流用できること。
- (3) 発注中および既所蔵データに対する重複チェックができること。
- (4) 一括発注処理ができること。
- (5) 利用者からウェブ画面による購入依頼を受け付けることができること。

#### 2. 2. 2 発注

- (1) NACSIS-CAT からデータを取り込み発注に利用できること。
- (2) 発注中および既所蔵データに対する重複チェックができること。
- (3) 本学蔵書目録データベース、および NACSIS-CAT に該当書誌がないものを発注する場合、オリジナル書誌データの作成が行えること。
- (4) 継続的に刊行される図書の発注処理が行なえること。
- (5) 電子ブックの発注処理が行えること。
- (6) 発注状態を画面上で変更できること。
- (7) 発注番号を付与して、発注データの管理ができること。
- (8) 絶版など、納入不可のデータ管理ができること。
- (9) 受入時に所蔵データに反映する各種の値（所在、貸出区分等）を発注時に設定で



きること。

(10) 複本の発注時に、本学蔵書目録データベースの既存の書誌を利用できること。

### 2. 2. 3 受入

(1) 発注データを利用し、受入データを作成することができること。

(2) 継続的に刊行される資料の受入処理が行なえること。セット物の受入処理が行えること。

(3) 寄贈図書を受入処理が行えること。

(4) 画面から資料 ID の登録が可能なこと。

### 2. 2. 4 支払

(1) 支払状態を画面上で変更できること。

(2) 未払の資料のうちで、特定データのみを支払対象とした支払処理ができること。

(3) 発注を経由しないデータに支払い処理を行えること。

### 2. 2. 5 その他

(1) 指定した条件で任意のデータを抽出し、Excel ファイル、CSV ファイル、TSV ファイル等に出力できること。

(2) 発注リスト等の帳票をプリンタ出力できること。

## 2. 3 雑誌管理

### 2. 3. 1 発注・契約

(1) 同一タイトル、同一年度の発注データに対して重複チェックができること。

(2) 発注状態を画面上で変更できること。

(3) 当年度の契約情報を元に次年度の契約情報を一括で作成できること。また、1件ごとに作成することもできること。

(4) 新規及び中止雑誌の登録、修正、削除ができること。

(5) 雑誌の一括契約、契約期間中の誌名変遷の処理が行えること。

### 2. 3. 2 受入

(1) 書誌指定後、巻号の予測値が自動でセットされること。

(2) 受入画面から資料 ID や特集記事の情報（巻号タイトル）を登録できること。

(3) 受入情報の削除が画面上で行えること。

(4) 増刊号等の不定期な受入が行えること。また、合併号の受入が行えること。

(5) 1冊ごとに資料 ID を登録し、貸出ができること。

(6) 購入及び寄贈雑誌の受入処理が行えること。

(7) 受入データから雑誌目録の所蔵項目（HLV、HLYR）を自動編集し、OPAC に反映できること。

(8) 雑誌を受入日から1か月間、貸出不可にできること。また、1か月経過後は、自

動的に貸出可能にできること。

### 2. 3. 3 支払・精算

- (1) 支払状態を画面上で変更できること。
- (2) 前金払い、後金払い、欠号等にもなう精算の処理が可能なこと。
- (3) 支払番号を付与して、支払処理を行えること。

### 2. 3. 4 製本

- (1) 雑誌受入情報を利用して製本発注情報が作成できること。
- (2) 版型、製本費用などの製本仕様を製本データ毎に設定できること。
- (3) 製本発注、製本受入処理ができること。
- (4) 製本情報の登録処理を行い、OPAC に反映できること。
- (5) 製本情報に資料 ID を登録できること。
- (6) 製本情報の修正・削除ができること。
- (7) 製本データの削除ができること。

### 2. 3. 5 その他

- (1) 指定した条件で任意のデータを抽出し、Excel ファイル、CSV ファイル、TSV ファイル等に出力できること。
- (2) 発注リストや製本発注リスト等の帳票をプリンタ出力できること。
- (3) 未着リストを出力できること。
- (4) 異なる書誌への巻号の引き取りができること。

## 2. 4 目録管理

- (1) システムの目録規則は、国立情報学研究所(NII)の定める目録規則に準拠すること。
- (2) NACSIS-CAT から書誌・所蔵・典拠データを取り込み本学の目録データベース形成に利用できること。
- (3) 本学の目録と NACSIS-CAT の画面を容易に識別できること。
- (4) 目録データ作成において、重複が生じないように考慮されていること。
- (5) 本学独自の書誌項目を追加することが可能であること。本学独自の書誌項目は記述系、コード系それぞれで複数使用できること。
- (6) 統一書名典拠、著者名典拠の管理ができること。
- (7) 典拠データを統合する処理ができること。
- (8) 様々な抽出条件を指定して、ファイルに出力できること。
- (9) 図書所蔵および雑誌所蔵データを NACSIS-CAT へ一括アップロードできること。
- (10) NACSIS-CAT の図書所蔵および雑誌所蔵データを一括削除できること。
- (11) CATP 形式のデータを一括登録することができること。
- (12) 書誌を統合する処理ができること。
- (13) 所蔵データを他の書誌に付け替える処理ができること。

- (14) 所蔵データごとに紛失と除籍の処理を行えること。紛失および除籍の資料は、OPAC に表示されず、貸出や返却時に警告が表示されること。紛失および除籍を解除すると OPAC に表示されること。
- (15) 雑誌の受入データに特集名等を入力し、OPAC で検索・表示できること。
- (16) 所蔵データを利用してバーコードラベルおよび請求記号ラベルをプリンタに出力できること。
- (17) 図書原簿等の帳票を印刷できること。
- (18) 図書所蔵、雑誌受入、雑誌所蔵データを一括更新できること。
- (19) Excel ファイル、CSV ファイル、TSV ファイル等から図書所蔵データ、雑誌受入データを一括登録することができること。
- (20) MARC21 形式の図書書誌データを一括登録できること。
- (21) 本学蔵書目録データベースの図書と雑誌を同時に検索できること。
- (22) NACSIS-CAT の図書と雑誌を同時に検索できること。
- (23) 冊子体以外の資料（電子資料等）を管理できること。
- (24) 電子資料のデータを一括で登録できること。
- (25) NACSIS-CAT の各データベースと PREBOOK データベースを識別できること。

## 2. 5 閲覧管理

### 2. 5. 1 貸出・返却

- (1) 利用者 ID の入力に IC カードリーダーおよび磁気カードリーダー、資料 ID の入力にバーコードリーダーが利用できること。
- (2) 自動貸出返却装置での貸出・返却に対応できること。
- (3) 貸出区分を 10 種類以上登録できること。
- (4) 開館日や貸出条件を元に返却期限が自動で設定されること。また、手動でも設定できること。
- (5) 未登録資料の貸出ができること。
- (6) 本来は貸出できない資料の強制貸出機能を有すること。
- (7) 予約中の資料が返却された場合は、貸出返却画面にメッセージが表示されること。
- (8) 紛失または除籍済みの資料を返却された場合に、貸出返却画面にメッセージが表示されること。
- (9) 資料を延滞している利用者の利用者 ID を読み込んだ際に、貸出返却画面にメッセージが表示されること。
- (10) 利用者に対する連絡事項を貸出返却画面で確認できること。
- (11) 返却処理は利用者 ID を読むことなく資料 ID のみで可能なこと。
- (12) 次の条件の組合せにより、貸出冊数、返却期限及び延長回数などの貸出条件が自由に設定できること。また、設定変更が可能であること。
  - (ア) 利用者の区分（学部学生、教職員など）
  - (イ) 資料の所在（図書館、福島駅前キャンパス図書室、各講座など）
  - (ウ) 貸出の種類（図書貸出、雑誌貸出、視聴覚貸出など）

- (13) 延滞した利用者に対して、新規貸出の停止などのペナルティが与えられること。
- (14) 利用者区分、貸出種別等によりペナルティの内容を変えることができること。
- (15) 下記条件の組み合わせにより、貸出状況を自由に検索できる機能を有すること。
  - (ア) 貸出状況（貸出中、返却済、延滞中など）
  - (イ) 日付の種類（貸出日、返却日、退却期限など）
  - (ウ) 日付の範囲
  - (エ) 利用者の区分（学部学生、教職員など）
  - (オ) 資料の所在（図書館など）
  - (カ) 貸出の種類（図書貸出、雑誌貸出、視聴覚貸出など）
  - (キ) 利用者 ID
  - (ク) 資料 ID
- (16) 不要になった返却済みの貸出データを削除できること。
- (17) 業務サーバにアクセスできない時、業務用端末単体での貸出処理ができること。  
なお、業務サーバが復旧した時は、業務用端末単体での貸出処理の結果をデータベースに登録できること。
- (18) 貸出、返却、予約などの状況は、リアルタイムで OPAC に反映されること。

#### 2. 5. 2 予約

- (1) 業務用端末から貸出中資料および未貸出資料に対して書誌単位、所蔵単位で複数の予約ができること。
- (2) 利用者が OPAC 画面から、貸出中または未貸出の資料に対して書誌単位の予約ができること。また、既に予約されている資料であっても予約できること。その際、待ち順番を表示すること。
- (3) 予約の取り消しができること。
- (4) 利用者が予約を行う際に、本学情報ネットワークシステムのユーザ名とパスワードによる認証を行うこと。
- (5) 未貸出資料を利用者が予約し、学内の所蔵館（室）から資料の取り寄せができること。また、配送の情報を管理できること。
- (6) 予約票をプリンタ出力できること。

#### 2. 5. 3 督促

- (1) 督促状が印刷、または PDF ファイルで出力できること。
- (2) メールによる督促が自動的に行えること。

#### 2. 5. 4 利用者情報管理

- (1) 利用者情報を Excel ファイル、CSV ファイル、TSV ファイル等から一括して登録・更新できること。
- (2) 利用者情報の登録・修正・削除が行なえること。
- (3) 登録済の利用者情報を一括して更新できること。

- (4) 利用者個人情報の閲覧を制限できる機能を備えること。
- (5) 利用者情報管理のデータから以下の既存の各装置で利用者情報として取り込むことができるファイルを自動的に出力できること。生成するファイルはそれらの装置が学内 LAN を通じて自動的に取り込むことができるものであること。なお、ファイルのフォーマット、データの抽出条件等は本学と協議すること。
  - (ア) 入館ゲート／光が丘（アクセスセキュリティ社）
  - (イ) 入館ゲート・退館ゲート／駅前（IDEC 社）
  - (ウ) 入退室管理システム／光が丘（アズビル社）

## 2. 6 相互貸借

- (1) 国立情報学研究所(NII)に接続し、NACSIS-ILL での文献複写及び現物貸借の依頼、受付処理ができること。
- (2) NACSIS-ILL からデータをダウンロードして本学相互貸借データベースに取り込むこと。
- (3) NACSIS-ILL を利用しない依頼・受付情報を処理できること。その際、本学蔵書目録データベースの書誌を取り込むことができること。
- (4) 本学相互貸借データベースの参加組織データ、利用者データをメンテナンスできること。なお、利用者データは閲覧管理と共用できること。
- (5) 依頼票、送付票等の帳票をプリンタ出力できること。
- (6) 資料の到着をユーザにメールで通知できること。
- (7) 到着資料の利用者への引渡しと返却の管理ができること。また、利用者から図書館への返却期限の設定ができること。
- (8) 依頼先の優先度を設定できること。また、依頼画面上で変更できること。
- (9) 利用者がウェブ画面から入力したデータを利用して、NACSIS-ILL へ依頼できること。
- (10) 料金相殺サービスの参加館を識別できること。
- (11) リレーション(CAT2020)を含む所蔵館検索に対応していること。

## 2. 7 蔵書点検

- (1) ハンディターミナル、バーコードリーダーを接続した PC 等を用いた蔵書点検が可能であること。
- (2) 資料 ID が記録されたテキストファイルを点検に利用できること。
- (3) 所在、和洋区別、請求記号等により点検範囲を指定できること。
- (4) 点検状態ごとに資料の一覧が表示できること。
- (5) 紛失日や資料 ID を指定して、紛失資料を一括で除籍できること。
- (6) 分館ごとに独立して蔵書点検処理が実行できること。処理する分館を複数指定できること。
- (7) 蔵書点検期間中に新規登録された目録情報や、貸出返却された資料の情報を蔵書点検結果に反映できること。

## 2. 8 統計機能

- (1) 集計条件設定が容易にでき、かつそれを保存して再利用できること。
- (2) 集計結果は画面確認できること。また Excel ファイル、CSV ファイル、TSV ファイル等に出力が可能なこと。
- (3) 蔵書数、貸出冊数・人数、予約件数、ILL 依頼・受付数、貸出頻度等を集計できること。

## 2. 9 目録検索(OPAC)

- (1) 学内および学外からウェブブラウザによる利用ができること。
- (2) システムの更新処理の時間帯を除き 24 時間の利用が可能なこと。
- (3) オンラインヘルプ等の機能により使用法の説明等が参照できること。
- (4) 日本語表示と英語表示を切り替えられること。
- (5) フリーキーワード(文字列)による検索ができること。文字列全体での前方一致、後方一致、部分一致、完全一致検索が行えること。
- (6) キーワードの入力については、大文字・小文字、全角・半角が区別されることなく、正規化されて利用できること。また、カタカナ表記の違い、記号(中点、カンマ等)、異体字漢字(国または國など)、音標記号つきアルファベットに対しても正規化されて利用できること。
- (7) 正規化のルールとして NII の漢字統合インデクスと同等の機能を有すること。
- (8) 英単語単位での前方一致、後方一致、部分一致、完全一致検索が行えること。
- (9) AND、OR、ANDNOT 演算を使用して検索条件が指定できること。
- (10) 検索キーワード候補の表示ができること。
- (11) タイトルとして、目録データベースの本書名、副書名、別書名、内容細目など書名に関する項目の包括的な検索(項目を指定せず、複数の項目を同時に検索すること)ができること。
- (12) 編著者名として、目録データベースの責任表示、著者標目など著者に関する項目の包括的な検索ができること。
- (13) 雑誌の特集名(巻号タイトル)で検索できること。
- (14) 図書館独自のコードや項目を、画面上で検索条件に指定できること。
- (15) 図書館で設定したカテゴリーによる検索が可能なこと。またカテゴリーには階層構造を持たせることができること。
- (16) 検索結果の画面表示は、一覧表示とその詳細表示ができること。
- (17) 検索結果に発注中、貸出中、予約保留中などの最新の状況を表示し、貸出中の資料については、返却期限を表示できること。
- (18) 検索結果から、貸出中および未貸出資料の予約ができること。
- (19) 検索結果の一覧表示件数を利用者が選択できること。
- (20) 一覧表示画面に、所在と請求記号を表示できること。
- (21) 検索結果の一覧は適合度、出版年、タイトルによる並べ替えができること。

- (22) 検索結果の一覧ではファセットによる検索結果の絞り込みができること。
- (23) 検索結果の詳細表示で、シリーズ名、著者名、件名のリンクから、それぞれ同じシリーズ、同じ著者、同じ件名の資料一覧を表示できること。
- (24) 雑誌については、書誌・所蔵データの他に雑誌管理で受入れた各巻号データ（巻号、出版年月、巻号タイトル、製本状況など）を表示すること。
- (25) 書誌や所蔵について、図書館独自のコードや項目を表示できること。
- (26) OpenURL に対応し外部システムからデータを受け取り、本学の所蔵検索および文献複写依頼へのデータ流用が可能なこと。ただし、対象となる外部システムについては別途協議のうえ、決定するものとする。
- (27) 目録情報を登録した電子ブック、電子ジャーナルの検索が可能なこと。また、検索結果から該当する電子ブック、電子ジャーナルサイトへのリンクが可能なこと。
- (28) Google Books、openBD（版元ドットコム）等が提供する API の利用により図書の表紙画像を表示する機能を備えること。画像の利用は各 API の利用規約に則ったものであること。
- (29) 貸出ランキングを表示することができること。
- (30) スマートフォンに対応していること。スマートフォンで目録検索から提供するすべての機能を利用できること。
- (31) 国立国会図書館や CiNii Books 等の図書検索サイトを横断的に検索する機能を有すること。
- (32) タイトルや著者名、出版社など条件を詳細に指定した検索が可能なこと。また条件の指定は本学蔵書目録データベース以外の図書検索サイトに関しても可能なこと。

## 2. 10 ポータル機能

- (1) 利用者の個人用ページの提供が可能なこと。個人用ページはパスワードにより保護されること。
- (2) 利用者個人向けのお知らせを表示できること。
- (3) 利用者個人の以下の状況を表示できること。
  - (ア) 貸出状況
  - (イ) 予約状況
  - (ウ) 文献複写依頼状況
  - (エ) 現物借用依頼状況
  - (オ) 図書購入依頼状況
- (4) 利用者個人用ページから、文献複写依頼、現物借用依頼、図書購入依頼が可能なこと。また、自館の所蔵資料や横断検索の検索結果から書誌データを流用できること。
- (5) 利用者個人用ページから、貸出延長、予約取消しが可能なこと。
- (6) 一度認証すれば、ログアウトあるいはタイムアウトするまで、認証の状態が保持されること。

- (7) 利用者が指定した資料のデータを個人毎のフォルダ等に登録し、参照することができること。
- (8) 本学で指定したディレクトリサーバ (Active Directory) と連携し、本学情報ネットワークシステムのユーザ名とパスワードで認証できること。
- (9) ポータル機能利用時における通信を暗号化すること。サーバ証明書は国立情報学研究所の UPKI 電子証明書発行サービスにより発行されたものを用いてよい。証明書導入に必要な作業のうち、本学職員しか行えない作業以外は受注者が行うこと。

## 2. 1.1 電子リソース管理

- (1) KBART 形式の電子リソースデータの登録および更新ができること。また、登録した電子リソースデータに特定のライセンス情報を紐づけることができること。
- (2) 電子リソースの契約番号を付与して、契約データの管理ができること。
- (3) 当年度の契約情報を元に次年度の契約情報を一括で作成できること。また、1件ごとに作成することもできること。
- (4) 契約情報の一括更新ができること。
- (5) 支払番号を付与して、支払処理ができること。

## 3 ハードウェア

### 3. 1 サーバ

#### 3. 1. 1 業務サーバ

図書館業務の中核となるサーバである。

- (1) ラックマウント型とする。
- (2) インテル® Xeon® プロセッサ E-2434 または同等以上の性能を有する CPU を内蔵すること。
- (3) メモリを 16GB 以上搭載すること。
- (4) 内蔵ハードディスクは 300GB 以上のディスクを複数有し、RAID1 構成とすること。また、ホットスペア用のディスクを 1 本有すること。インターフェースは SAS とする。
- (5) 電源は冗長構成とすること。
- (6) DVD-ROM ドライブを内蔵すること。
- (7) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを有すること。
- (8) ラックマウント型の無停電電源装置と接続し、停電時に 5 分以上電源の供給、およびサーバを安全にシャットダウンさせることが可能であること。
- (9) OS は Red Hat Enterprise Linux の最新リリースとする。

#### 3. 1. 2 検索サーバ

OPAC をはじめ、各種検索等を行うサーバである。

- (1) ラックマウント型とする。
- (2) インテル® Xeon® プロセッサ E-2434 または同等以上の性能を有する CPU を内



蔵すること。

- (3) メモリを 16GB 以上搭載すること。
- (4) 内蔵ハードディスクは 300GB 以上のディスクを複数有し、RAID1 構成とすること。  
また、ホットスペア用のディスクを 1 本有すること。インターフェースは SAS とする。
- (5) 電源は冗長構成とすること。
- (6) DVD-ROM ドライブを内蔵すること。
- (7) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを有すること。
- (8) ラックマウント型の無停電電源装置と接続し、停電時に 5 分以上電源の供給、およびサーバを安全にシャットダウンさせることが可能であること。
- (9) OS は Red Hat Enterprise Linux の最新リリースとする。

### 3. 1. 3 サーバ共用装置

#### 3. 1. 3. 1 コンソール装置

- (1) サーバの入出力装置としてディスプレイ、キーボード、マウスを各 1 つ備えること。
- (2) 1 セットの入出力装置で各サーバの操作が可能であること。
- (3) ディスプレイは、17 型以上のカラー液晶ディスプレイとする。
- (4) キーボードは、日本語キーボードとする。
- (5) マウスは、光学式またはレーザー式とする。

#### 3. 1. 3. 2 ネットワークストレージ

- (1) ラックマウント型ネットワークストレージ (NAS) により、サーバのデータバックアップができること。
- (2) RAID 6 構成とし、実効容量を合計 2TB 以上有すること。
- (3) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを有すること。
- (4) スナップショット機能を有すること。
- (5) 無停電電源装置と接続すること。

### 3. 2 端末 PC 等

#### 3. 2. 1 業務用端末

図書館業務用アプリケーションを利用し、図書館業務を行う端末機である。

- (1) 省スペースのデスクトップ型 PC とする。
- (2) OS は Windows 11 Pro 相当以上の性能を有すること。
- (3) CPU はインテル® Core™ i5-14500 プロセッサ、または同等以上の性能を有すること。
- (4) メモリを 16GB 以上搭載すること。
- (5) 512GB 以上の SSD を内蔵すること。
- (6) DVD-RW および DVD+RW に対応した光学ドライブを内蔵すること。

- (7) ディスプレイ装置は 21.5 型ワイド（解像度：1920×1080）以上のカラー液晶ディスプレイ（非光沢）とし、PC とはデジタル方式で接続すること。
- (8) カラー液晶ディスプレイ装置はチルト機能を有し、上下計 25 度以上の角度調節が可能であること。
- (9) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを有すること。
- (10) テンキー付き日本語キーボードを有すること。
- (11) レーザー式マウスを備えること。
- (12) Microsoft 社 Office LTSC Professional Plus 2021 相当以上の機能を有する統合オフィスソフトを備えること。統合オフィスソフトは、ワードプロセッサ、表計算、プレゼンテーション、データベースの各ソフトを含むこと。
- (13) Acrobat Pro DC 相当以上の機能を有する PDF ファイル作成ソフトを備えること。
- (14) 設置時の状態に復元できるようにバックアップを作成すること。障害発生時にはバックアップからの復元が可能であること。

### 3. 2. 2 検索用端末

利用者が目録検索を行う端末機である。

- (1) 省スペースのデスクトップ型 PC とする。
- (2) OS は Windows 11 Pro 相当以上の性能を有すること。
- (3) CPU はインテル® Core™ i3-14100 プロセッサ、または同等以上の性能を有すること。
- (4) メモリを 8GB 以上搭載すること。
- (5) 256GB 以上の SSD を内蔵すること。
- (6) DVD-ROM ドライブを内蔵すること。
- (7) ディスプレイ装置は 21.5 型ワイド（解像度：1920×1080）以上のカラー液晶ディスプレイ（非光沢）とし、PC とはデジタル方式で接続すること。
- (8) カラー液晶ディスプレイ装置はチルト機能を有し、上下計 20 度以上の角度調節が可能であること。
- (9) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを有すること。
- (10) テンキー付き日本語キーボードを有すること。
- (11) レーザー式マウスを備えること。
- (12) アルファシステムズ社の V-Recover 等の環境復元ソフトを導入し、利用者が設定変更を行った場合であっても元の環境に復元することができること。
- (13) 設置時の状態に復元できるようにバックアップを作成すること。障害発生時にはバックアップからの復元が可能であること。

### 3. 2. 3 蔵書点検用端末

蔵書点検時に使用する端末機である。

- (1) ノート型 PC とする。
- (2) 業務用端末としても利用することができること。

- (3) OSはWindows 11 Pro相当以上の性能を有すること。
- (4) CPUはインテル® Core™ i5-1334U、または同等以上の性能を有すること。
- (5) メモリを16GB以上搭載すること。
- (6) 256GB以上のSSDを内蔵すること。
- (7) 液晶パネルは、非光沢の15.6型フルHD（解像度：1920×1080）とする。
- (8) Webカメラを内蔵すること。
- (9) 1000BASE-T対応のLANインターフェースを有すること。また、無線LAN規格802.11axの無線LANを利用できること。
- (10) Bluetoothに対応していること。
- (11) 日本語キーボードを有すること。
- (12) レーザー式マウスを備えること。
- (13) Microsoft社Office LTSC Professional Plus 2021相当以上の機能を有する統合オフィスソフトを備えること。統合オフィスソフトは、ワードプロセッサ、表計算、プレゼンテーション、データベースの各ソフトを含むこと。
- (14) 設置時の状態に復元できるようにバックアップを作成すること。障害発生時にはバックアップからの復元が可能であること。

### 3.2.4 端末接続機器

#### 3.2.4.1 バーコードリーダー

業務用端末のうちの9台（光が丘6台；駅前3台）に接続して、資料IDを読み取る装置である。

- (1) NW-7およびCode 39規格のバーコードを設定変更なしで読み取る機能を有し、資料の貸出処理、返却処理、資料の受入、蔵書点検に利用できること。
- (2) USBインターフェースであること。
- (3) 電源は業務用端末より供給可能であること。
- (4) ソフトウェアが必要な場合、合わせて納入すること。

#### 3.2.4.2 ICカードリーダー

各館カウンターの業務用端末4台（光が丘2台；駅前2台）に接続して、ICカードの利用者IDを読み取る装置である。

- (1) 教職員、学生等が所持しているICカード（FeliCa）から利用者IDを読み取る機能を有し、資料の貸出処理に利用できること。
- (2) USBインターフェースであること。
- (3) 電源は業務用端末より供給可能であること。
- (4) ソフトウェアが必要な場合、合わせて納入すること。

#### 3.2.4.3 磁気カードリーダー

各館カウンターの業務用端末4台（光が丘2台；駅前2台）に接続して、磁気カードの利用者IDの読み取るための装置である。

- (1) 一般利用者用カード（JISⅡ規格磁気カード）から利用者 ID を読み取る機能を有し、資料の貸出処理に利用できること。
- (2) インターフェースは USB であること。
- (3) 電源は業務用端末より供給可能であること。
- (4) ソフトウェアが必要な場合、合わせて納入すること。

#### 3. 2. 4. 4 磁気カードリーダー

使用する際に PC に接続して、磁気カードに利用者 ID を書き込むための装置である。

- (1) 一般利用者用カード（JISⅡ規格磁気カード）にデータ（利用者 ID）を書き込むことができること。
- (2) インターフェースは USB であること。
- (3) ソフトウェアが必要な場合、合わせて納入すること。

#### 3. 3 その他のハードウェア

##### 3. 3. 1 プリンタ

ネットワークを介してプリント出力するための装置である。

##### 3. 3. 1. 1 カラーレーザープリンタ（事務室・光が丘）

- (1) カラーレーザープリンタであること。
- (2) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを備えていること。
- (3) 両面印刷ができること。
- (4) 印刷速度は、片面 45 枚／分以上（A4 カラー）であること。
- (5) 解像度 1,200×1,200dpi での印刷が可能であること。
- (6) 用紙サイズは、ハガキ～A3 に対応していること。
- (7) 500 枚以上の用紙トレイを 2 つ以上と手差しトレイを有すること。
- (8) NW-7 のバーコードを印刷できること。
- (9) 用紙などの収納スペースがあるキャスター付きの台に乗せて設置すること。

##### 3. 3. 1. 2 カラーレーザープリンタ（カウンター・光が丘）

- (1) カラーレーザープリンタであること。
- (2) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを備えていること。
- (3) 両面印刷ができること。
- (4) 印刷速度は、片面 35 枚／分以上（A4 カラー）であること。
- (5) 解像度 1,200×1,200dpi での印刷が可能であること。
- (6) 用紙サイズは、ハガキ～A3 判に対応していること。
- (7) 用紙トレイを 2 つ以上有すること。うち 1 つは 500 枚以上の用紙トレイであること。さらに手差しトレイを有すること。
- (8) NW-7 のバーコードを印刷できること。
- (9) 横幅は 550mm 以内とする。

### 3. 3. 1. 3 モノクロレーザープリンタ（閲覧室）

- (1) モノクロレーザープリンタであること。
- (2) 1000BASE-T 対応の LAN インターフェースを備えていること。
- (3) 両面印刷ができること。
- (4) 印刷速度は、A4 片面 35 枚／分以上であること。
- (5) 解像度 1,200×1,200dpi での印刷が可能であること。
- (6) 用紙サイズは、A4 に対応していること。
- (7) 500 枚以上の用紙トレイ、および手差しトレイを有すること。

### 3. 3. 2 ハンディターミナル

蔵書点検時に、資料に貼付されたバーコードを読み取る装置である。

- (1) 資料に貼付された NW-7 および Code 39 規格のバーコードを設定変更なしで読み取ることができること。
- (2) 読取ったデータを蓄積できること。蓄積したデータをデータベースに転送し、蔵書点検に利用できること。
- (3) 電池はニッケル水素電池および乾電池が利用できること。形状は単三形または単四形とする。
- (4) ソフトウェアやデータ転送用の機器等が必要な場合は、合わせて納入すること。

### 3. 3. 3 自動貸出返却装置

利用者本人の操作により、貸出、返却、貸出延長の手続を行う装置である。

- (1) 利用者本人の操作により図書の貸出、返却、貸出延長処理が行える機能を有すること。また、その処理選択は、タッチパネルに触れることで選択できること。
- (2) 処理されたデータは、図書管理システムの閲覧管理と連携し、閲覧管理にリアルタイムに反映されること。また、貸出冊数上限や延滞者への貸出制限など閲覧管理の規定に沿った処理が行われること。
- (3) 外形寸法が W550mm×D400mm×H730mm 以下であること。
- (4) 15 インチ以上の液晶カラータッチパネルを内蔵し、操作手順を示すメッセージ類の表示機能を有すること。また、図書タイトルや返却期限等を表示する機能を有すること。項目の表示／非表示は図書館職員が変更できること。
- (5) 画面上に常時、管理者が設定した任意のメッセージをスクロールメッセージとして表示することが可能なこと。
- (6) 個人認証については、閲覧管理の利用者情報と照合すること。なお、照合するための利用者 ID は、教職員、学生が所持している IC カード (FeliCa) から読み取ることができること。
- (7) 処理後にレシートを発行する機能を有すること。
- (8) 装置本体に内蔵されたレシート発行用プリンタは、幅 78mm 以上の感熱ロール紙に対応していること。また、プリンタ用紙を職員が容易に交換できること。
- (9) レシートの印字項目を設定する機能を有し、館名/資料タイトル/返却期限（貸出

および延長の場合)等を印字可能であること。

- (10) 資料の表紙、または裏表紙に背に対して垂直(バーコードのバーが背に平行な向き)に貼付されたNW-7およびCode 39規格のバーコードを設定変更なしで読み取るための移動式バーコードスキャナを装備していること。また、資料の背より2cmから12cm、地より2cmから14cmの矩形範囲内に貼付されたバーコードを読み取ることができること。
- (11) 貸出、返却処理時に資料に貼付されているタトルテープ<sup>TM</sup>感知マーカに磁気信号の付加、および消去処理を自動的に行う機能を有すること。
- (12) 装置の動作確認、パラメータ変更等の管理者操作は、筐体に内蔵されたキーボードおよびマウスで可能であること。
- (13) タトルテープ<sup>TM</sup>感知マーカ未貼付の資料についても貸出処理が行えること。
- (14) 利用者が容易に言語の選択(日本語、英語)ができること。
- (15) 画面上で利用者が現在の操作項目、またその後の操作項目がわかるよう操作をナビゲートする表示を有すること。
- (16) 図書館職員以外が容易に設定変更をできない構成となっていること。
- (17) 貸出、返却、貸出延長の処理ができなかったときは、画面表示、またはレシートによって即時に利用者にエラーの内容を通知し、処理を中止する機能を有していること。
- (18) 図書管理システムパッケージソフトウェアとの通信仕様に関してはABC Protocol(第5版)およびSIP, SIPIIに対応しており、図書管理システムパッケージソフトウェアの仕様に対し容易に選択可能なこと。
- (19) 貸出・返却・貸出延長の各処理の完了前に資料の入れ替えを防止する機能を有していること。
- (20) 2冊以上の資料の同時処理を防止する機能を有すること。
- (21) 装置の利用状況を把握するため、日計、月計、年計などの任意の期間について、利用者数、処理資料数等を集計可能な簡易統計機能を有していること。集計された統計データは、CSVファイル等へ出力できること。
- (22) 自動貸出返却装置と業務サーバの通信履歴を自動貸出返却装置内にCSVファイル等として残す機能を有すること。
- (23) 急な停電、落雷、コンセントの抜けが発生しても、それらによる機器への悪影響がない構成となっていること。
- (24) 装置には起動・停止のためのキースイッチが装備されていること。また、職員が設定した時刻に自動起動・自動停止が可能であること。
- (25) 既存の置き台に設置すること。

#### 3.3.4 ブックディテクションシステム

資料の無断持ち出しをチェックすることで蔵書の紛失を防止する装置である。なお、ブックチェックユニットは本調達の範囲外とする。

### 3. 3. 4. 1 磁気式不正持出検知装置

- (1) タトルテープ<sup>TM</sup> 感知マーカの感知が可能であること。
- (2) 本体部は、利用者の安全を考慮した材質、形状であること。
- (3) 通路幅は、車椅子の通行が可能なよう 900mm 以上であること。
- (4) 設置部周辺の通行に支障がないよう本体部の奥行きは 700mm 以内であること。
- (5) 利用者への圧迫感がないようパネルの高さは 1600mm 以内、パネル部の厚みは 35mm 以内であること。
- (6) 利用者が通過する際に、貸出処理がなされていない資料を検知した場合、即座に警告音を発して警告ランプを点灯すること。
- (7) ゲートにタトルテープ<sup>TM</sup> 感知マーカを装着した本を近づけただけでは発報しない機能を有すること（ゲート内に人がいる状況で処理されていないタグを検知した場合のみ発報すること）。
- (8) 警告音の音量の変更が可能であること。
- (9) 衣類やカバンの中に入れた資料も探知できる精度の高いものであること。
- (10) AV 資料（CD、DVD 等）にも対応できること。
- (11) ペースメーカーなどの植込み型医療器具に誤作動を生じさせない機能を有すること。
- (12) ペースメーカーなどの植込み型医療器具利用者に EAS 機器の設置を明示するため、JEAS（日本万引防止システム協会）が発行する EAS マークを貼付のこと。
- (13) コンピュータや携帯電話などの電子機器から出るノイズに強く、誤作動を回避する機能を有すること。
- (14) PC を用い機器動作状態の表示および検知調整がリアルタイムで把握できる機能を有すること。
- (15) 附属学術情報センター（光が丘）の出口に設置すること。

### 3. 3. 4. 2 ゲートアーム

- (1) 磁気式不正持出検知装置と連動し、利用者が通過する際に貸出処理がなされていない資料を検知した場合、ゲートをロックする機能を有すること。また、原因消滅後、速やかにゲートのロックが自動解除されること。
- (2) ゲートアームは、利用者の安全を考慮した材質、形状であること。
- (3) ゲートアームは手動で利用者の進行方向に開くことができ、手を離すと自動でもとの位置に戻ること。
- (4) ゲートアームの本体部の外形寸法は、設置予定場所に設置可能な大きさ（幅 1,040mm（通路幅含）、高さ 920mm 以内）であり、かつ、利用者の不正な出入りを防ぐことができる大きさであること。

### III. その他の要件

#### 1 保守

- (1) ハードウェア及びソフトウェアに起因する障害の復旧作業は受注者が行い、本業務への影響が最小となるよう迅速に対応することとし、その為に必要な機器や維持のための費用等は受注者の負担とすること。
- (2) 障害等の受付は単一窓口で対応できること。
- (3) 障害が発生した場合は、できるだけ速やかに復旧にあたること。
- (4) 平日（土日祝日、12月29日から1月3日の休日以外）の9時から17時までにおいてハードウェア障害が発生した場合、翌営業日以降の訪問修理対応ができること。それ以外の日時においては、修理受付日の翌営業日以降の訪問修理対応ができること。
- (5) 復旧対応等の作業後は、その内容を報告すること。
- (6) システムにバージョンアップ等があった場合には、速やかに連絡し、本学と協議のうえ、必要な場合はバージョンアップ等を行うこと。また、その際の費用は保守費用に含まれること。
- (7) NACSIS-CAT/ILL においてシステム的な変更があった場合、変更のアプリケーションを提供する等の適切な対応をとること。

#### 2 移行

- (1) 目録データ、図書・雑誌の契約データ、閲覧管理データ、相互貸借データ等の現行システムのデータの継承ができること。NACSIS-CAT の書誌、所蔵をダウンロードする形でのデータ継承は移行作業として認めない。
- (2) 現行システムのデータ抽出後から移行に関する一連の作業は、本学と協議のうえ、受注者の責任において短期間で完了すること。
- (3) 移行においては、本学の日常業務に大きな支障を与えないこと。
- (4) 次期システムへのデータ移行の際は、データの抽出作業、抽出手順の提示、データ構造の説明等によりデータ移行に協力すること。

#### 3 情報セキュリティ

- (1) 本調達に係る業務に遂行にあたり、予め情報セキュリティを確保するための実施体制を整備し、書類（様式は任意）にて報告すること。
- (2) 本調達に係る業務に関して本学から提供された情報、その他知り得た情報を、本学が承諾した場合を除き、実施体制に定めた者以外の者には秘密とすることとし、また、当該業務の遂行以外の目的には使用しないこと。なお、当該業務の終了後においても他者に漏洩しないこと。
- (3) 本調達に係る業務の遂行において情報セキュリティが侵害され又はそのおそれがある場合には、速やかに報告すること。
- (4) セキュリティホールの発見あるいはコンピュータウイルスなどによりセキュリテ



ィ上の問題が発生し、セキュリティパッチの適用やウイルス駆除等の対策が必要になった場合は、本学と協議のうえ早急に対応すること。

- (5) ベンダーによるソフトウェアのアップデートやパッチの提供があった場合には、本学に情報を提供することとし、内容を検討して適用の必要がある場合には、本学と協議のうえ早急に対応すること。
- (6) ソフトウェアを開発するにあたっては開発担当者に対する適切なセキュリティ教育を行うこと。
- (7) 本調達に係る業務の一部を他の事業者にも再委託により行わせる場合には、本学が求める情報セキュリティ対策と同水準の情報セキュリティを確保するための対策を再委託先に求めること。
- (8) 本番運用データは原則として、テストデータとして使用しないこと。やむを得ず使用する際は機密情報を消去した上で使用すること。
- (9) 次表に示す各システムについて、次のセキュリティ要件を満たすこと。
  - (ア) 次のセキュリティ機能を持つこと。
    - ・主体認証機能
    - ・アクセス制御機能
    - ・権限管理機能
    - ・証跡管理機能
  - (イ) セキュリティ修正（ファームウェア、ドライバの修正等を含む）が提供されること。

項番	システム・機器	対象	
		(ア) セキュリティ機能	(イ) セキュリティ修正
3. 1. 1	業務サーバ	OS	OS
3. 1. 2	検索サーバ	OS	OS
3. 1. 3. 2	ネットワークストレージ	OS	OS、ファームウェア
3. 2. 1	業務用端末	OS	OS
3. 2. 2	検索用端末	OS	OS
3. 2. 3	蔵書点検用端末	OS	OS

#### 4 その他

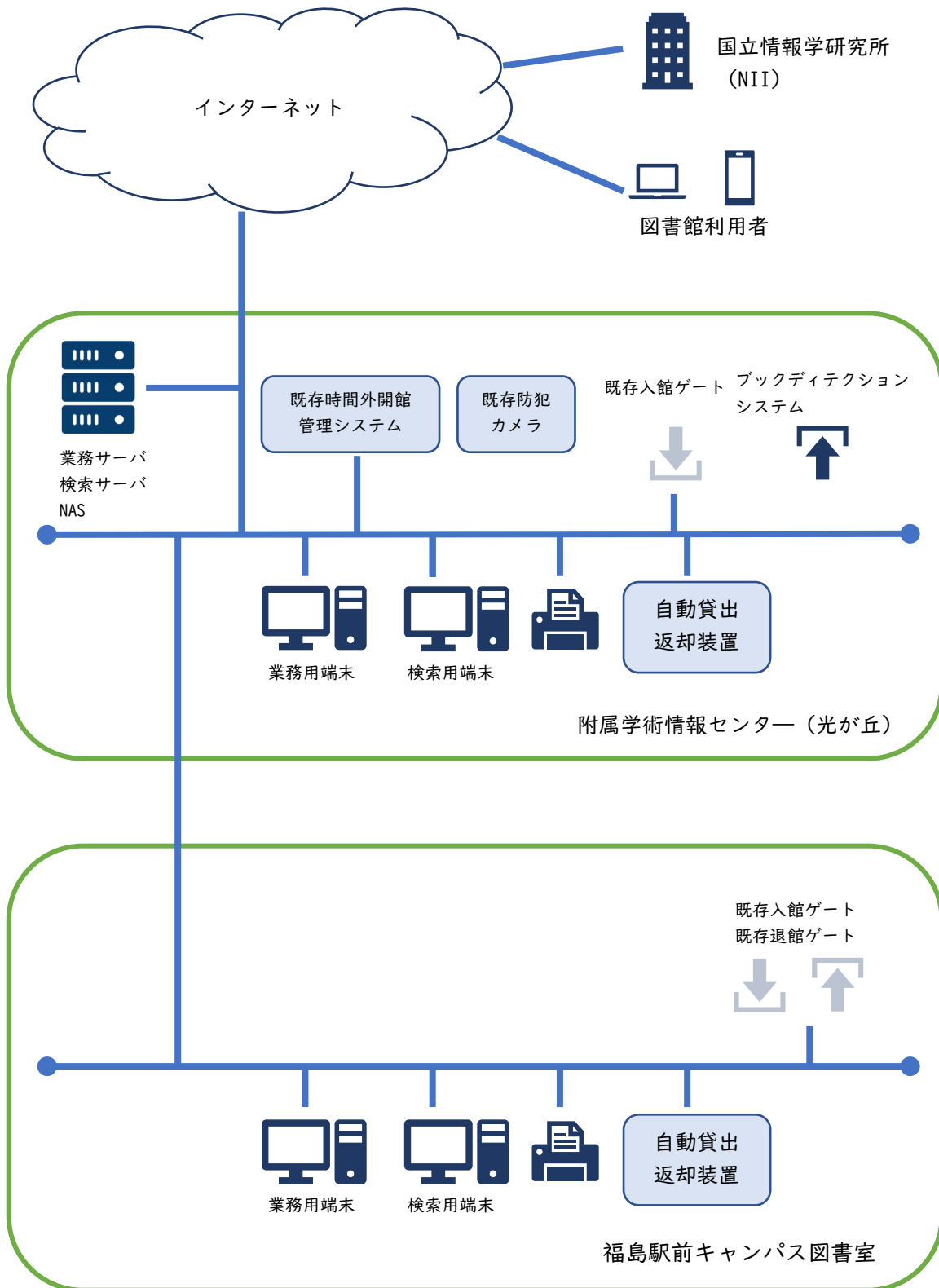
##### 4. 1 研修・支援体制について

- (1) ハードウェアおよびソフトウェアについてのシステム全体の設定・構成等日本語による基本マニュアルを冊子またはオンライン形式で1部以上提供すること。
- (2) 業務端末等の日本語操作マニュアルを冊子またはオンライン形式で1部以上提供すること。
- (3) システム導入の際には、本学の求めに応じてシステム運用、端末操作等の教育、講習会を行うこと。
- (4) システムの改訂がある場合、その通知、操作方法の教育を速やかに行うこと。ま

た、マニュアルの改訂も速やかに提出すること。

- (5) システムの運用について、協力的な姿勢と体制をとること。
- (6) システムに関して本学が行う各種質問等には、速やかに対応すること。
- (7) サポート要員が複数名常駐するサポート拠点を備えること。

別紙I 図書管理システム概念図



※記載は主要な機器のみ

別紙 2

令和 5 年度福島県立医科大学附属学術情報センター業務統計

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

1. 蔵書数

蔵書数 (冊)	所蔵雑誌 (種)	電子ジャーナル (種)	電子書籍 (タイトル)
242,866	7,655	10,365	9,349

2. 年間受入数

年間受入数 (冊)	年間受入雑誌 (種)
2,428	717

3. 年間利用状況

入館者数 (人)	貸出冊数 (冊)
83,081	11,540

4. 相互貸借状況

受付		依頼	
複写受付	現物貸出	複写依頼	現物借受
1,082	40	1,164	37